



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

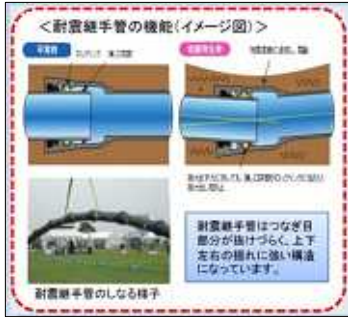
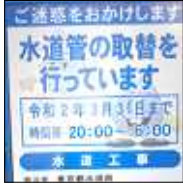
E-mail:kouji.office@gmail.com

869 2023年7月16日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
9月4日(月)
18時~20時
横山区議事務所
8月は休み...お急
ぎの方はご連絡を!



荒川区「地域防災計画」の修正方針について
命を守るまちづくりと高齢者・障害者支援など



「いつまでもなく、一人の犠牲者も出さない」ためには、建物の倒壊・火災を防

7月13日の震災対策特別委員会に荒川区地域防災計画修正方針(案)の更新に

遅れている住宅と上下水道の耐震化...
倒れない、逃げなくても良い「まちづくり」を

水道耐震化・地震時断水率(2021年度末)

Table with 2 columns: Water supply rate and Earthquake cut-off rate for various wards in Tokyo.

地震の最初の衝撃から建物の倒壊・火災を最低限防ぐための住宅簡易耐震化工

水道管の耐震化は、防災上の緊急課題です。ところが、水道管耐震化は、荒川区48%です。

荒川区で「一人も犠牲者も出さない」ためには一にも二にも住宅耐震化です。住宅は個人の財産ですが、大地震などで倒壊、炎上すれば、地域全体が大変な被害を被ります。

水道管の耐震化は、防災上の緊急課題です。ところが、水道管耐震化は、荒川区48%です。2019年当時42%から若干の進捗です。

事への助成を実施すべきです。頑なに拒否する荒川区の姿勢が問われています。

Table showing progress of residential seismic and fireproofing in Arakawa City.



近所でツバメを確認：巣作りは終わったのでしょうか全国的にツバメやスズメの減少が言われていますが

少し前ですが、早朝近所でツバメが数羽飛び交っているのを目撃しました。子育てするのに必要な虫などの餌を朝早く捕食しているのです。

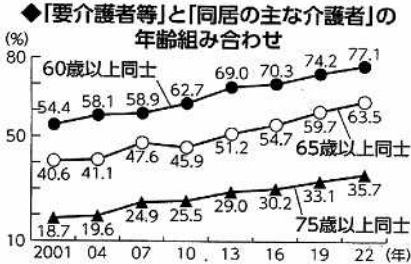
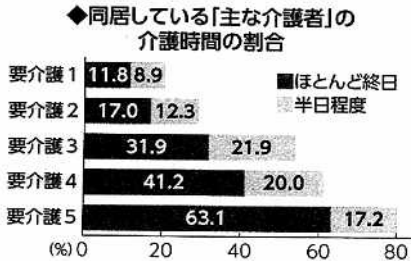
「町屋さくら復活・移動の自由保障を考える」...④
荒川区地域公共交通会議の議論から考える

荒川区地域公共交通会議は、設置要綱・第1条にあり「地域における需要に応じた住民の生活に必要な交通手段の確保...

国民生活基礎調査から読み解く…暮らし、介護、子育て

2022年の「国民生活基礎調査」の結果（概要）が公表されています。そこから政治に求められる課題も明らかになっています。

老老介護が6割を超え 女性に負担が集中…問われる介護制度



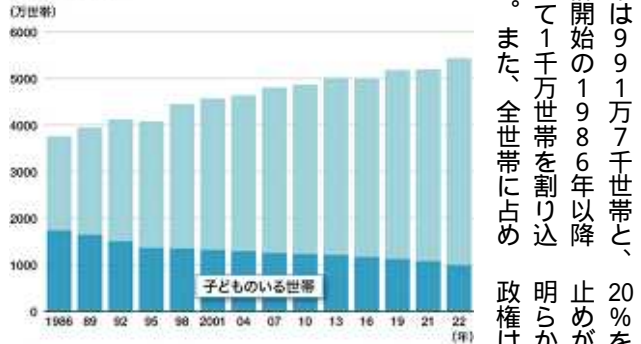
この調査で、介護の社会化をつたつた介護保険制度が十分機能しなれない実態が明らかになりました。介護の多くが家族介護に頼っている実態は深刻です。特に老



老介護が6割を超えています。また、同居者の介護時間は、要介護3以上でほとんど終日となっています。その背景には、高い利用料・利用限度額や介護保険サービスの利用制限などがあげられます。また払える範囲でしかサービスを利用しない「利用控え」も問題ですが、調査対象になつていません。今年介護保険改定が行われます。区民暮らしを守る区政の役割も問われています。

子どものいる世帯が1000万世帯割れ 8時間働けば普通に暮らせる社会を

世帯数の推移



出所：厚生労働省「国民生活基礎調査」

18歳未満の子どものいる世帯は991万7千世帯と、統計開始の1986年以降初めて1千万世帯を割り込んだ。また、全世帯に占める割合も18.3%と初めて20%を下回り、少子化に歯止めがかかっていないことが明らかになりました。岸田政権は、「異次元に少子化対策」といいますが、賃上げと雇用環境の抜本的な改善が緊急課題です。また、義務教育無償化はもちろん、大学の学費の大幅引き下げや給付型奨学金などの実現が急がれます。

子ども貧困問題…改善されたか？ ひとり親世帯は引きつづき半数が貧困

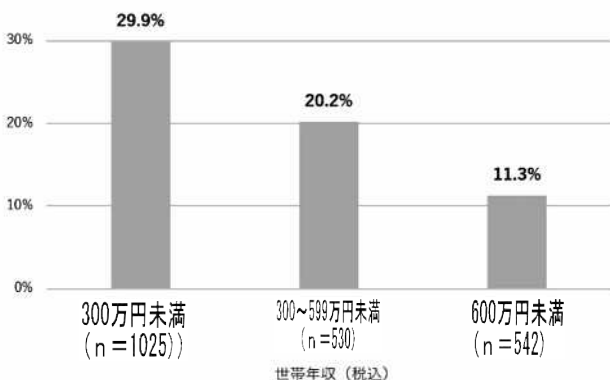
母子世帯は75.2%、児童のいる世帯は54.7%が「生活が苦しい」と感じており、子育て世帯の厳しい状況がうかがえます。実際の子ども貧困率は11.5%、ひとり親世帯の貧困率は44.5%とも改善されつつありますが、依然として高い水準です。本気の対策が求められます。

子どものいる世帯の生活意識	生活意識				
	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
子育て世帯	22.9%	31.7%	39.0%	5.4%	0.9%
母子世帯	39.4%	35.9%	23.4%	1.4%	0.0%

今週のデータ 子どもの3人に1人が「ゼロ」広がる「体験格差」

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンは、昨年10月に全国の小学生が学校外で行うスポーツや文化芸術活動、旅行等の「体験活動」への参加状況や支出状況等について実態調査を実施。結果、世帯年収300万円未満の低所得世帯の子どものうち約3人に1人が1年を通じて学校外の体験活動を「何もしていない」ことが判明。学校外の体験活動を「何もしていない」子どもの割合は、世帯年収600万円以上の家庭と比べ約3倍の差が生じています。子どもの貧困問題の解決は待ったなしです。

学校外の体験がない子どもの割合（直近1年間）



《情報コーナー》

プレミアム付きお買物券販売開始

プレミアム付き区内共通お買い物券（1冊1万円…1万2千円分を1人3冊まで）の購入は7月15日（土）10時からはじまっています。はがき、Webでの購入は16日からです。間に合わなかった方はこちらをご利用ください。

はがき・Webの場合は、抽せんで購入引換券が郵送されます。引換は8月5日（土）～7日（月）の13～19時、サンポップマチヤ1階です。

【Web】

7月16日（日）午前0時～21日（金）11時59分まで。

こちらから→



【はがき】

7月16日（日）～21日（金）必着。住所 氏名 電話番号 希望冊数（3冊まで）を記載。「〒137-8691 日本郵便（株）新東京郵便局 私書箱106号（株）アテナ内 第20弾プレミアム付き荒川区内共通お買い物券事務局」

お買物券事務局コールセンター
問合せ (5796) 5866
土日休除く8月8日まで11時から16時半